

アンケート調査について

1 アンケート調査の目的

①現状と課題及び計画策定の周知

児童生徒を取り巻く現状(少子化、老朽化、教育環境の変化)と課題を示し、それらへの対応が必要であることを意識してもらう。

また、現状とこれからの教育に対応するための整備基準等を示した計画を策定することを周知し、新たな学校づくりに興味を持ってもらう。

②計画策定及び審議会での検討に活用する基礎資料

児童生徒数の減少や施設の老朽化等を受け、

- ・適正規模適正配置の検討及び対策を進めるにあたり、市民等がどう感じているのか
- ・新たな学校として市民等からどのような役割、機能が求められているのか

を把握し、計画策定及び審議会での検討の際の基礎資料とする。

2 アンケート調査で聞く大まかな内容

「適正規模について」(例:あなたが思う最適な1学年のクラス数は何クラスですか。)

「適正配置について」(例:あなたの自宅から学校までの距離はどのように感じますか。)

「学校施設のあり方について」(例:学校(建物)について良くなって欲しいと思う場所がありますか。)

3 調査概要

(1)対象者、調査方法、回答方法

対象者	調査方法	回答方法
①市立小中学校に在籍する児童生徒 (小学校1年生～中学校3年生)	タブレット端末にURL及びQRコード付き案内文を配信	Webフォーム
②市立小中学校に在籍する児童生徒の全保護者	保護者連絡用ツールアプリにURL及びQRコード付き案内文を配信	Webフォーム
③市立小中学校に勤務する全教職員	タブレット端末にURL及びQRコード案内文を配信	Webフォーム
④市内に所在する教育・保育施設に在籍する幼児の全保護者	URL及びQRコード付き案内文を配布	Webフォーム
⑤その他市民	広報誌及び市ホームページにURL及びQRコード付き案内文を掲載	Webフォーム
⑥①～⑤のうち、Webフォームで回答できない方	教育総務課の窓口で紙の調査票を配布	書面

(2)設問数

対象者ごとに30問程度(質問内容は異なる部分がある)

- ・質問項目や選択肢の文言は対象者別に変更する。(業者委託)
- ・アンケートを回答するにあたり、参考となる基礎資料(現在の学校別児童生徒数及び学校施設老朽化状況等)のグラフなどを調査表の中に掲載する。